

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1168	(H.22)No.	1168
-----------	------	-----------	------

事務事業名	なばり本の帯コンクール事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	図書館	木村コミ子	63-3260
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐむ生涯学習の推進
	施策	1	生涯学習
	小施策	1	学習機会の総合的整備
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	507504
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	図書館費
項	社会教育費	(小事業名)
目	図書館費	なばり本の帯コンクール事業

## 3. 事務事業の概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社アドバンスコープ主催、名張市共催、名張市教育委員会後援の事業。</li> <li>市内小中学生を対象に、「本の帯」作品を募集。</li> <li>審査会で作品を審査(本の帯賞、本の帯努力賞、ふるさと乱歩賞、学校賞など)</li> <li>表彰式を行い、賞状及び副賞を授与</li> </ul>

めざす効果(事業目的)
小中学生の読書推進活動の一環

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 募集作品 : 本の帯 手に取った本が読みたくなる ような推薦文やイラストを書いて 本にまいたもの  募集期間 : 10月1日 ~ 12月 10 募集対象 : 小・中学生  応募点数 : 687点 (小632、中55)  入賞点数 : 本の帯賞 6 点 本の帯努力賞10 点	[事業内容(事業量)・事業費] 第4回についても前3回と同様 に「なばり本の帯コンク ール」として行う。	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
直接事業費	30千円	30千円	30千円	30千円	30千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他( )	30	30	30	30	30
一般財源	(0)	0	0	0	0	
人工数	職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 730千円	730千円	730千円	730千円	730千円	
+ 総事業費	(0千円) 760千円	760千円	760千円	760千円	760千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	点	-	-	300	1,000	1,100
	実績		286	293	687		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き主催者と協働し、事業の推進に努める。						

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
対象となる小中学生が減少していく。 高校、一般成人の対象を検討。	

## 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	事業者単体との協働から実行委員会形式にしてそれぞれの負担を軽減していく
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など コンクール実施にかかる事務負担・費用負担について実行委員会形式として軽減を図る	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など コンクール実施にかかる事務負担・費用負担について実行委員会形式として軽減を図る	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1169	(H.22)No.	1169
-----------	------	-----------	------

事務事業名		図書館運営費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	図書館	木村ユミ子	63-3260
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 44 年度 ~ 平成 年度	図書館法、名張市立図書館設置条例、名張市立図書館規則	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
	施策	1	生涯学習
	小施策	1	学習機会の総合的整備
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	507502
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	図書館費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	図書館費	図書館運営費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーションに寄与します。各種催し物を企画、実施して図書(読書)へのきっかけ作りを行います。すべての利用者に等しくサービスの提供が図れるように移動図書館の運行、障害者サービスの実施等を行います。	

めざす効果(事業目的)
市民の教養と文化の発展に寄与

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 入館者: 278,431人 蔵書: 288,192冊 貸出: 608,631冊 (本館 549,933) (BM 58,698) 図書等購入費: 19,470千円 図書 : 11,329冊 視聴覚 : 63点 リクエスト : 53,563冊 レファレンス : 4,927件 開館日数 298日	[事業内容(事業量)・事業費] ・資料の収集・整理・保存 ・資料の貸出(予約、読書案内) ・レファレンスサービス ・各種催し物(展示)の実施 ・委託による効果的サービスの実施	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )	
直接事業費	57,571千円	55,151千円	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
財源内訳(千円)			図書館サービスの実施	図書館サービスの実施	図書館サービスの実施
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 57,571	55,151	57,151	57,151	57,151
人工数	職員 1.50人	1.30人	1.30人	1.00人	1.00人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 10,950千円	9,490千円	9,490千円	7,300千円	7,300千円
+ 総事業費	(0千円) 68,521千円	64,641千円	66,641千円	64,451千円	64,451千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市民1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	-	-	-	-
	実績			6.1	6.7	6.9	
成果指標	目標	年度内に図書の貸出を利用した市民の割合	%	-	-	-	16.5
	実績			15.6	15.9	15.8	
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	すでに目標値を超えた指標もある。引き続き事業を推進し、より良い成果を得られるよう努める。						

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
利用要求の多様化、高度化。 情報提供資料媒体の変化(多様化)。	

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 厳しい財政状況の中、現行の業務委託という手法で業務を行いながら指導体制(市の専門の人員の育成)の継続を進めていかなければならない。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5046	(H.22)No.	5046
-----------	------	-----------	------

事務事業名		図書館管理費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	図書館	木村ユミ子	63-3260
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 44 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
	施策	1	生涯学習
	小施策	1	学習機会の総合的整備
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	507501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	図書館費
項	社会教育費	(小事業名)
目	図書館費	図書館管理費

## 3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
図書館の施設及び設備の効率的な維持・管理	施設及び設備の維持

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・施設維持管理等委託 3,625千円 ・電算(複写)機器等使用料 8,116千円 ・施設維持管理修繕(繰越) 1,664千円	[事業内容(事業量)・事業費] 図書館施設の維持管理 ・施設維持管理委託 ・電算機器等使用料 ・施設維持管理修繕	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)		
			図書館施設の維持管理	図書館施設の維持管理	図書館施設の維持管理		
<b>直接事業費</b>	<b>(1,664千円) 20,805千円</b>	<b>20,514千円</b>	<b>20,514千円</b>	<b>20,514千円</b>	<b>20,514千円</b>	<b>20,514千円</b>	<b>20,514千円</b>
財源内訳(千円)							
国庫支出金	(1,664)						
県支出金							
地方債							
その他( )		231					300
一般財源	(0)	20,574	20,514	20,514	20,514	20,514	20,514
人工数							
職員	(0.10人)	1.30人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人
臨時職員等							
<b>概算人件費</b>	<b>(730千円) 9,490千円</b>	<b>7,300千円</b>	<b>7,300千円</b>	<b>7,300千円</b>	<b>7,300千円</b>	<b>7,300千円</b>	<b>7,300千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(2,394千円) 30,295千円</b>	<b>27,814千円</b>	<b>27,814千円</b>	<b>27,814千円</b>	<b>27,814千円</b>	<b>27,814千円</b>	<b>27,814千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。  
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市民1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	-	-	-	-
	実績			6.1	6.7	6.9	
成果指標	目標	年度内に図書の貸出を利用した市民の割合	%	-	-	-	16.5
	実績			15.6	15.9	15.8	
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
社会全体で節電に取り組まなければならない状況にあって、4,5年前に建てられた建物、設備で工夫していくにはかなりの困難を伴う	

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 拡大推進
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 図書館運営のために施設・設備の維持が必要	